

感 染 症

県中地域感染症発生動向調査週報(2025年第23週)

(令和7年6月2日～令和7年6月8日)

令和7年6月12日

定点報告(上段:定点当り/下段:報告数)

区 分	疾 病 名	2025年					2024年	2023年
		20週	21週	22週	23週	合計	合計	合計
定点報告	インフルエンザ	1.40 7	2.20 11	0.80 4	0.60 3	— 1,038	— 2,570	— 3,223
	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	1.20 6	1.60 8	— 0	0.60 3	— 783	— 2,596	— 1,698
	R S ウイルス感染症	— 0	1.67 5	0.33 1	0.33 1	— 29	— 104	— 110
	咽頭結膜熱	— 0	— 0	0.33 1	— 0	— 16	— 104	— 37
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4.67 14	3.33 10	2.67 8	2.00 6	— 197	— 240	— 176
	感染性胃腸炎	7.33 22	3.67 11	3.33 10	5.33 16	— 420	— 696	— 1,023
	水痘	— 0	0.67 2	0.33 1	0.67 2	— 27	— 29	— 28
	手足口病	— 0	0.33 1	— 0	0.33 1	— 11	— 973	— 132
	伝染性紅斑	7.33 22	3.00 9	1.00 3	2.00 6	— 408	— 43	— 3
	突発性発しん	— 0	0.33 1	1.33 4	0.67 2	— 27	— 81	— 100
	ヘルパンギーナ	— 0	— 0	— 0	— 0	— 0	— 28	— 188
	流行性耳下腺炎	— 0	— 0	— 0	— 0	— 1	— 4	— 2
	急性出血性結膜炎	— 0	— 0	— 0	— 0	— 0	— 0	— 1
	流行性角結膜炎	— 0	— 0	— 0	1.00 1	— 6	— 6	— 9
	急性呼吸器感染症(ARI) (定点当り)	64.40	56.60	66.00	57.20			
全数報告	結核	0	0	0	0	3	8	2
	百日咳	4	2	3	6	31	5	4

出典:福島県感染症発生動向調査週報(I D W R)より県中地域分を抜粋しています。

県中地域の流行状況

流行中

伝染性紅斑

流行注意

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘(全国的に増加傾向)

【百日咳について】

今週は6件報告がありました。10代以下を中心に感染が続いています。百日咳菌に感染することによる、急性の気道感染症です。感染経路は、咳やくしゃみによる飛沫感染と、菌が付着して間もない手や物を介した接触感染です。約10日間の潜伏期間の後、かぜ症状で始まり、次第に特有の顔を真っ赤にしてコンコンと激しく咳き込み(スタッカート)、ヒューと音を立てて息を吸う発作(ウープ)となります。学校保健安全法では、特有の咳が消失するまで、または5日間の適正な抗菌薬療法が終了するまで出席停止とされています。学校や職場等での集団発生に注意が必要です。特に、乳幼児は重症化のおそれがありますので、定期予防接種が有効です。

基本的な感染対策をお願いします



手洗い + 手指消毒

場面に応じたマスクの着用
や咳エチケット

定期的な換気

体調不良時は
無理せず休む

福島県県中保健福祉事務所(福島県県中保健所)